

牛 島 達 治 english

1958 東京生まれ

1983 Bゼミ(Bゼミ Schooling System)中退

2003年より武蔵野美術大学彫刻科非常勤講師

2005年より2014まで明星大学造形デザイン学科非常勤講師

個 展

1984 己展開 (神奈川県民ホールギャラリー,横浜)

1987 無用な機械たち (ヒルサイドギャラリー,東京)

1989 中宇宙広場構想 (ヒルサイドギャラリー,東京)

1991 HOMAGE TO THE MOON (アートフォーラム谷中,東京)

1992 「ケハイ」の構造 (ヒルサイド・ギャラリー,東京)

1993 ニュー目黒名〈画〉座 《無用な機械たち》から《シジフォスの夢》へ (目黒区美術館,東京)

1995 景色—もうひとつの視点 (プラスマイナスギャラリー,銀座 東京)

1997 まっすぐなキュウリたちの午後 (C・スクエア,名古屋)

1998 水にまつわる埋もれた記憶から (ZEXEL ART SPACE ZOOM,渋谷 東京)

2005 牛島達治 なりたちについて (a piece of space,銀座 東京)

2006 牛島達治 めけてゆくこと (ギャラリーマキ,東京)

グ ル ー プ 展

1982 ZONE (東邦生命ギャラリー,東京)

1983 Bゼミ展 (横浜市民ギャラリー,神奈川)

デザインフォーラム'83 (銀座松屋,東京)

テーブル・椅子・コップ展 (Gアートギャラリー,東京)

ニューヨーク・アート展 (渋谷西武百貨店,東京)

1985 第17回現代日本美術展 (東京都美術館/美術館)

現代美術の祭典'85 (埼玉県立近代美術館,埼玉)

1986 FROM SOUND (ストライプハウス美術館,東京)

1988 サウンドガーデンI (ストライプハウス美術館,東京)

1989 ドローイング倉庫展 (ヒルサイド・ギャラリー,東京)

音のある美術展 (栃木県立美術館,栃木)

1990 サウンドガーデンIII (ストライプハウス美術館/ハイネッケンビレッジ,東京)

1991 ドローイング倉庫展P A R T 2 (ヒルサイド・ギャラリー,東京)

Sonic Perception 音とその知覚に関する試み (川崎市民ミュージアム,神奈川)

サウンドガーデンIV (ストライプハウス美術館,東京)

“風”の造形展 (すみだリバーサイド・ギャラリー,東京)

1992 ドローイング倉庫展P A R T 3 (ヒルサイド・ギャラリー,東京)

- NICAF YOKOHAMA 1992 (パシフィコ横浜,神奈川)
- 1993 第3回名古屋国際ビエンナーレ ART EC'93 (名古屋市美術館,愛知)
Kid's Art Land (直島コンテンポラリーアートミュージアム,香川)
- 1994 甲府展 第10回記念展 キネテックスカルプチャー (山梨県立美術館,山梨)
NICAF YOKOHAMA 1994 (パシフィコ横浜,神奈川)
ドローイング展 (ヒルサイド・ギャラリー,東京)
- 1996 ひかる・うごく・おとがする 20世紀の静かならざる作品たち (和歌山県立近代美術館,和歌山)
IZUMIWAKU project 1996 《学校アーツ・センター構想》展 (立和泉中学校,東京)
- 1997 DREAM OF EXISTENCE-Exhibition of Young Japanese Artists (Kiscelli museum.Budapest)
表出する大地展 (広島市現代美術館,広島)
体感する美術 '97 まちへ出よう 風と精霊と人の声 (佐倉市立美術館,千葉)
- 1999 アートは楽しい10 天国で地獄 (ハラミュージアムアーク,栃木)
- 2000 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2000 (新潟)
- 2001 チャンネル・n , 多層世界への水路 (京都芸術センター,京都)
- 2003 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2003 (新潟)
- 2005 ランドマークプロジェクト (BankART Studio NYK,横浜)
- 2007 食と現代美術 3 (BankART 1929,横浜)
ランドマークプロジェクト 2 (BankART Studio NYK,横浜)
アーティスト・イン・スタジオ・プログラム (BankART 1929,横浜)
ヒルサイドギャラリー ~新たな出発にむけて (ヒルサイドフォーラム,東京)
- 2008 食と現代美術 4 (BankART 1929,横浜)
心ある機械たち (BankART 1929,横浜)
ルーフトップパラダイス (BankART Studio NYK,横浜)
- 2009 水と土の芸術祭「豊栄米蔵跡・汎用動力研究所」(豊栄駅前倉庫, 新潟市北区)
アートプログラム青梅 「空間の身振り」(青梅市立美術館+市内全域,東京)
- 2011 新・港村 小さな未来都市 ヨコハマトリエンナーレ 2011 特別連携プログラム (新港ピア,横浜)
- 2013 こすげアートヴィレッジ (小菅村物産館,山梨)
新宿クリエイターズ・フェスタ 2013 (エステック情報ビル広場,新宿)
アートプログラム青梅 2013 「雲をつかむ作品たち」(青梅市立美術館+明星大学構内,青梅)
- 2014 ハンマーヘッドスタジオ新・港区『撒収!』展 (新・港区 ハンマーヘッドスタジオ, 横浜)
デイリリーアートサーカス 2014 (喜多方市美術館, 福島県)
「国立奥多摩美術館~13日間のプレミアムな漂流~」(国立奥多摩美術館, 青梅)
- 2016 『アーツさいたま・きたまちフェスタ 2016』(さいたま市プラザノース,埼玉)
- 2017 BankART Life V~観光 (BankART studio NYK,横浜)
ファーレ立川アートミュージアム・デー2017 秋 (ファーレ立川内, 東京)
- 2019 『アーツさいたま・きたまちフェスタ 2018』(さいたま市プラザノース,埼玉)
心ある機械たち again (BankART Station,横浜)

コミッションワーク

- 1993 ガリバー (新梅田シティー,大坂)
- 1994 古典的な交信機器 伝声管(Voice Tube) (ファーレ立川,東京)
- 1997 天と地を継ぐ装置 (シンボルロード,愛知)
- 1998 地下水位計 あしもとにある宇宙 (HAT 神戸・灘の浜,神戸)
光の風車 (北広島市芸術文化センター,北海道)
- 2000 観測所 (十日町市松代,新潟)
水の時計 (テレビ朝日デジタルメディア会館,東京)
- 2003 くむ・めぐる・いとなむ (まつだい雪国農耕文化村,新潟)
- 2004 サヌカイトピットの音響装置群 (高松シンボルタワー,香川)
flying seed (関電ビルディング,大阪)
- 2005 kuruw-ru 風車のモビール (さわい病院,神奈川)
- 2006 おとのみち、ここにも (豊洲シエルタワー,東京)

コレクション

- 1996 キヲクノタメニ I (和歌山県立近代美術館,和歌山)
- 1998 サイブトシテノシゼンニツイテ VI (ニッタ株式会社,大阪)

ワークショップと講演など

- 1993 ARTEC'93 アーティストトーク (名古屋市美術館,愛知)
- 1996 「牛島達治のすべて」ゲストゼミ (Bゼミ,神奈川)
「都市空間における芸術と環境」 (日仏会館,東京)
- 1997 「泥で遊ぼう」(岩倉市大地町,愛知)
「天と地を継ぐ装置-夏の昼寝のために」(佐倉市立美術館,千葉)
- 1998 名古屋芸術大学デザイン学部ゲストトーク (名古屋芸術大学,愛知)
- 1999 「空の声」をつくろう (ハラミュージアムARC,群馬)
- 2000 「牛島的一なべ、茶碗に合唱させるための方法」(丸亀市猪熊弦一郎現代美術館,香川)
- 2001 「音連れの余韻~響きのサーカス」(谷中会館初音ホール、東京)
- 2007 「身近な物で聴くための装置をつくり、知覚について考える」(ファーレ倶楽部,立川市東京)
- 2009 「浮遊工房プロジェクト」(アートプログラム青梅,青梅市東京)
- 2011 「靴箱から広がる宇宙-宇宙はメカニズムで充ちる。かな？」講座全8回(bankart school,横浜)
- 2013 「金属を削る、磨く」(ハンマーヘッドカレッジ、横浜)
- 2014 「『伝声管』からひろがる世界」(立川市立柏小学校,東京)
- 2017 「SEV 試乗と工作体験」(ファーレ立川女性総合センター、東京)
- 2019 「心ある機械たち again~ワークショップ編」(BankART Station,横浜)

その他の制作物

- 1985,86 ステーションナリーグッズのデザイン,アートプリントジャパンより発売
- 1988 アパルトヘイト否 トラック プロモーションモデル「ゆりあべむべる・ジュニア」
- 1988 倉俣史朗作品制作「Samba-M」(LED グラス),
「Hydrogen Dream」(スプーンの照明器具)
- 1988 原広司 梅田スカイシティ建築コンペ プレゼンテーションモデル,梅田スカイシティ
- 1989 倉俣史朗作品制作「イニューメン 人でなしの女(L'Inhumaine)」(舞台模型)
「Pasta Fork」(電動フォーク)
- 1990 倉俣史朗作品制作「Amorino」(動くキューピー)
- 1992 三宅一生展示什器(吉岡徳仁デザイン),ジャンピングマシーン 初期型
- 1998 可動式プロジェクター台 名古屋芸術大学 (建築設計+監理,PH スタジオ)
- 1998 三宅一生展示什器(吉岡徳仁デザイン),ジャンピングマシーン 展示用多品種

助成

- 1994 A.C.C.(Asian Cultural Council)の助成によりニューヨークに滞在
- 2013 ACY 先駆的芸術活動支援 助成(横浜市)